

BShi 5月のテーマは“子どもたちへ”

子どもたちの大好きな動物の世界・虫の世界。
そして、明るく生き生きと未来を夢見てたくましく生き抜く子どもたち。
親子で一緒に観たくなるオススメ番組が満載です。

「世界！虫・ムシ大対決」

★5月4日(金)●BShi 後6:00～10:00

地球に生きる動物の3分の2を占めるといわれる昆虫。その種類は100万を超える。地上には実に美しい、あるいはユニークな、また不思議ないろんな虫たちが生きている。



番組では、世界の虫どころ、オーストラリア、中米、東南アジアの3つの地域にプレゼンターの3名が探検取材。ハイスピードカメラ、暗視カメラ、マイクロレンズなども駆使して面白い昆虫の生態を撮影。

スタジオでは3つの地域が、美しさ、デカさ、擬態の技術など様々なテーマで競い合うバトルや早押しクイズを展開。びっくり仰天、抱腹絶倒の虫たちが次々に登場する。



また、世界最強のクワガタ・カブト虫は何か？ヘラクレスオオカブトなど世界各地のカブト・クワガタが参加してトーナメントで争う異種格闘技も展開。

スタジオには虫好きのタレントや学者が大集合、50組100人の親子が対決の審査に参加、4時間にわたって世界の昆虫大図鑑を満喫する。

【司会】中山秀征、鎌倉千秋

【プレゼンター】やくみつる、小西美帆、山田一成

【出演】熊田曜子、原田慎治、桑野信義、山崎邦正
矢島稔、赤池学 ほか



シリーズ大自然の目撃者 『シートン動物記』の世界

5月7日(月)～9日(水) BShi 後8:00～9:30

名作「シートン動物記」の作者アーネスト・トンプソン・シートン。60年前に86歳で亡くなるまで、多くの著作を残した。実はシートンは、文学者だけでなく、博物学者や画家などさまざまな顔を持っていた。著作のモデルとなった場所でのロケで物語を再現したり、シートンが大きな影響を受けた先住民族を訪ねるなど、彼の人生を追体験しながら、シートンの多彩な活動が現代の私たちに訴えかけるメッセージを探る。案内役は映画監督の山本晋也さんと俳優の吉本多香美さん。

★「狼王ロボ」 5月7日(月)BShi 後8:00～9:30

数あるシートンの著作の中でも一番の代表作「狼王ロボ」は、シートンが実際に出会った一匹の狼、ロボにまつわる物語。狼の群れを率いて毎日のように牧場の牛を襲うロボを、シートンはあの手この手で倒そうとするが……。シートンとロボの知恵比べをいきいきと再現し、この対決を通じてシートンが学んだものを探っていく。狼の生態にも詳しい映画監督の羽仁進さんが、物語の理解を助ける。



★「灰色熊の伝記」 5月8日(火)BShi 後8:00～9:30



この回では、確かな観察と綿密な調査に裏付けられた「灰色熊の伝記」の物語を再現しながら、シートンの博物学者としての側面にスポットを当てる。私たちが野生動物と共存するには、何が必要か。よこはま動物園ズーラシア園長でシートンの大ファンでもある増井光子さんと一緒に、シートンのメッセージをひもといていく。

★「シートンが愛した身近な自然」 5月9日(水)BShi 後8:00～9:30

最終回はシートンの人生をたどる旅。「シートン動物記」には人里の動物を主人公にしたものも多い。身近な自然の観察こそシートンの原点だった。少年時代を過ごしたトロントや、先住民族から自然とともに生きる知恵を学んだマニトバ州を、吉本多香美さんが訪ねる。晩年のシートンは、野外活動の指導者としても活躍した。動物学者の今泉忠明さんとともに、「身近な自然」に親しむ喜びを伝えつづけたシートンが、生涯を通じて私たちに訴えるメッセージを探っていく。



子どもたちの“日常”から世界のいま、そして未来を見つめたい！

「大集合！地球に暮らす子どもたち」

“世界の子どもたちはどんな一日を過しているのだろうか？子どもたちの日常から、それぞれの国の社会や国民性、そしてそれらを重ねると世界の今が見えてくる。”

4月からBSHiでスタートした
新番組「地球に暮らす子どもたち」の“こどもの日”スペシャル

★5月5日(土)●BSHi 後7:00～11:00



4/14から毎週(土)放送の「地球に暮らす子どもたち」は、世界30カ国の子どもたちの「おはよう」から「おやすみなさい」まで、子どもたちの愛らしい“日常生活”を紹介。第1回は、チチカカ湖に浮かぶ葦で覆われた浮島で暮らすペルーのローリー君。舟で学校に通い、午後は、お父さんの漁のお手伝い。第2回は、風車の家に住みながら、羽に帆を張るなど風車を回す仕事を手伝っているオランダのリック君を紹介。



今回のスペシャルでは、社会や環境は違っても、明るく生き生きと未来を夢見て生きる子どもたちの生活をテーマごとに比較。

世界の様々なデータに、クイズやトークを交えて、楽しく世界の子どもの素顔にふれていく4時間。世界の子どもの姿から、世界の今を見ていくと同時に、日本の子どもたちが直面している様々な問題を解決するヒントも探る。



スタジオには国籍の違う子どもたちが集まり、車座になってトークをしたり、世界の“授業”や“ランチ”“遊び”など様々な体験をする。



果たして世界の子どもたちは、日本の子どもたちに、そして私たちにどんな驚きと感動をもたらしてくれるのでしょうか。

【司会】川平慈英、中山エミリ

【出演】鎌田靖（NHK解説委員）、川添恵子（作家）

馬場桂一郎（大阪信愛女学院短期大学教授）

ニヤンタ・デシュパンデ＜授業：インドの算数＞

ダグラス・ワキウリ＜授業：ケニアの理科＞